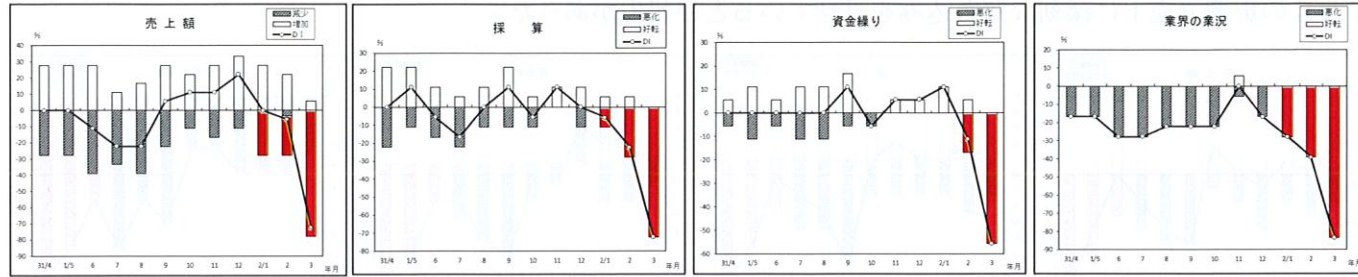


## サービス業(飲食店) 消費増税の影響が残る中、新型コロナで大幅売上減のサービス業

サービス業では3月に入り全てのDIが悪化した。特に売上DIが50ポイント以上大きく悪化した。前四半期との比較においても全項目で20ポイント以上悪化を示した。消費税増税後の価格転嫁の影響が残る中、イベントの中止や会合の自粛など外出を控える動きの影響で売上が大きく減少し経営を圧迫している。経営支援員からは3月中旬から状況は深刻化して今後の先行きを危惧する報告が多く報告された。



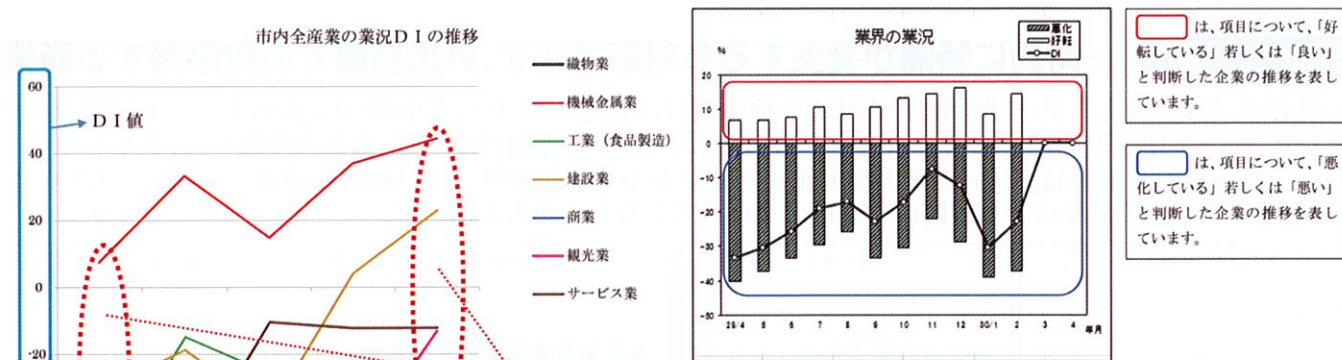
### DI値とは

DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、企業の業況感や売上額などの各種判断を指数化したものです。一般的に「変化の方向性を捉える」といった特徴を持つといわれ、各指標の数値が上昇しているのか低下しているのかを調べ、景気がどれくらい波及しているかを把握するためのものです。

もともとは循環する景気の動きを計測するために、NBER(全米経済研究所)でウェスリー・C・ミッチェル(Wesley Clair Mitchell)らが1938年に開発したもので、現在でも内閣府が毎月公表している「景気動向指数」の算出などに使われています。

DIの具体的な算出方法は、各指標によって異なりますが、当会では、時系列データとして【売上】【採算】【資金繰り】【業界の業況】の4項目をヒアリングし、増加(プラス)/減少(マイナス)などの属性に分類して、その属性の個数の全系列数に占める割合などから算出しています。

### グラフの見方



1つの見方として  
平成28年度の第Ⅲ四半期と比べて、赤点線部分が全体的に上に移動していて、上下範囲が大きくなっています。  
このようなことから、市内産業全体の業況は、全体的に上向き傾向の一方で、格差が広がっているということが読み取れます。

※ご注意ください。これらのDI値が「絶対」若しくは「正しい」というものではありません。あくまでも感覚的な指標であり、参考数値(材料)の1つに過ぎないことをご承知下さい。

### 経営発達支援計画推進事業

# 地域経済動向調査レポート

～京丹後市版～

(令和2年1月～令和2年3月)

京丹後市商工会



# 地域経済動向調査レポート—京丹後市版—

～ 新型コロナウイルスの影響により全業種が大幅悪化となった市内小規模企業 ～

令和2年5月1日

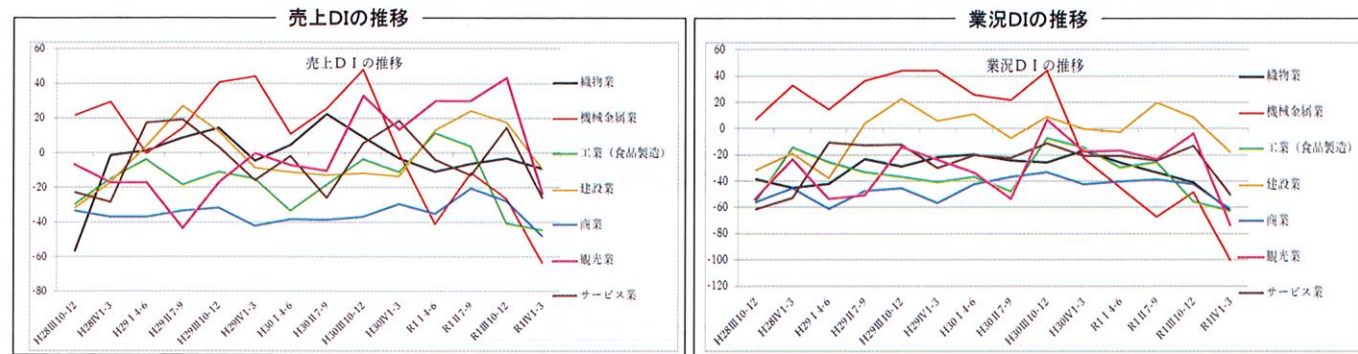
## <調査概要>

【調査対象】地域内の小規模事業者等101件 【調査期間】2020年1月～3月

【調査方法】当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査票への選択記入式

### <産業全体> 新型コロナウイルスの影響により全業種が大幅悪化となった市内小規模企業

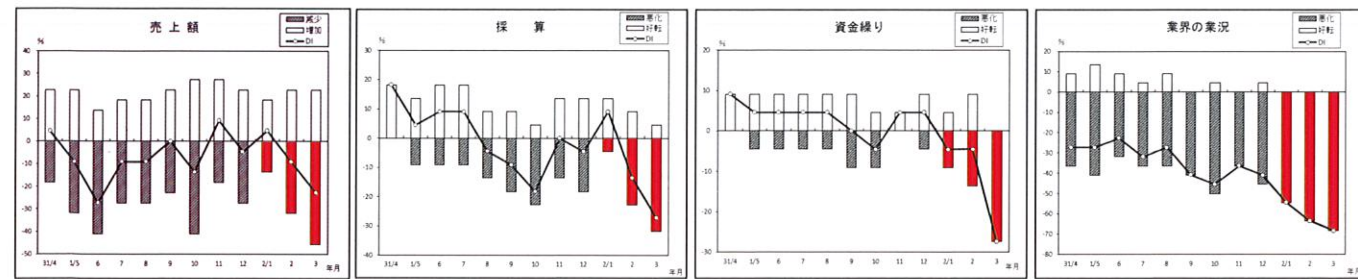
1月～3月の市内小規模事業者経済動向調査は、全DI(景気動向指数・前四半期対比)が大幅に悪化し、全ての項目において平成28年10月からの調査開始以後、最も大きな悪化幅まで落ち込んだ。消費増税の影響が色濃く残り、また米中貿易摩擦や暖冬が本来の季節需要に負の影響をもたらした。後半には新型コロナウイルスにより観光・サービス業がキャンセル等の、機械金属・工業は部品・原材料の供給不足等の影響を受けるなど、全産業ともに明るさの見えない報告が目立った。



※上記グラフは、過去の四半期毎の該当DIの平均値を算出しグラフ化したもの

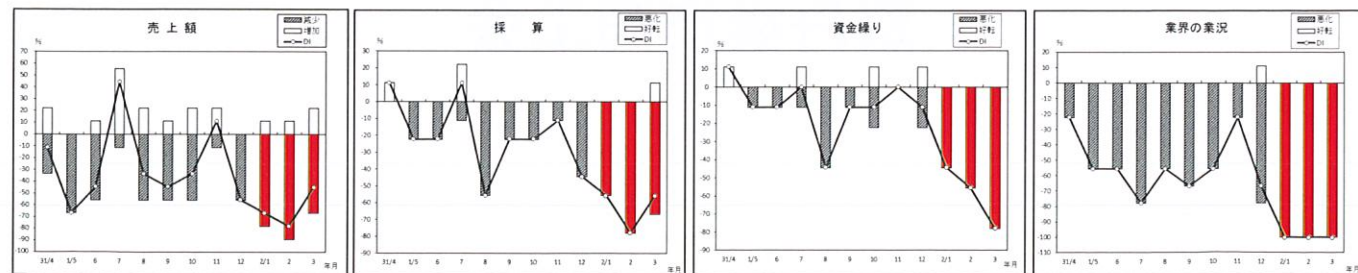
### 織物業 原材料の停滞に加え催事中止等で売上確保の見通し立たない織物業

織物業においては、全DIで悪化となった。悪化幅は全項目で過去最大となった。前四半期と比較しても全ての項目で15ポイント以上悪化し、中でも特に業況DIは30.6ポイント悪化した。2月までの報告では米中貿易摩擦が和らぎ新型コロナウイルスの影響もほとんどないとの報告があったが、3月に入り一転、催事等の中止による売上確保の見通しが全く立たないとの報告が目立ち、最も深刻な事態になる前に早目の対応が望まれる。



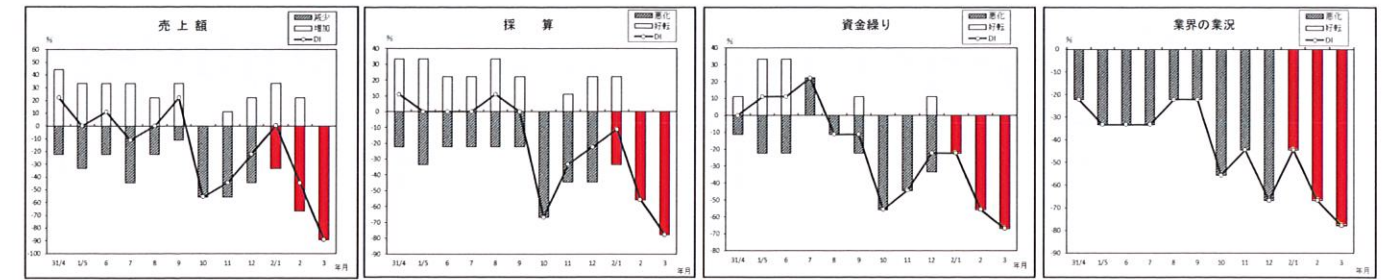
### 機械金属業 全ての調査先が悪化を示すなど負の影響が重なり大きく落ち込む機械金属業

機械金属業については、3月に入り、売上・採算DIが僅かに改善したものの、資金繰りDIは大きく悪化し、業況DIについては3ヶ月連続で全ての調査先が悪化(100%)を示した。前四半期との比較では全ての項目で大きく悪化し、消費増税・米中貿易摩擦・新型コロナウイルスと立て続けに負の影響が重なった。経営支援員からは、工場の一部休業・生産調整をしている事業者が出てきたとの報告があった。



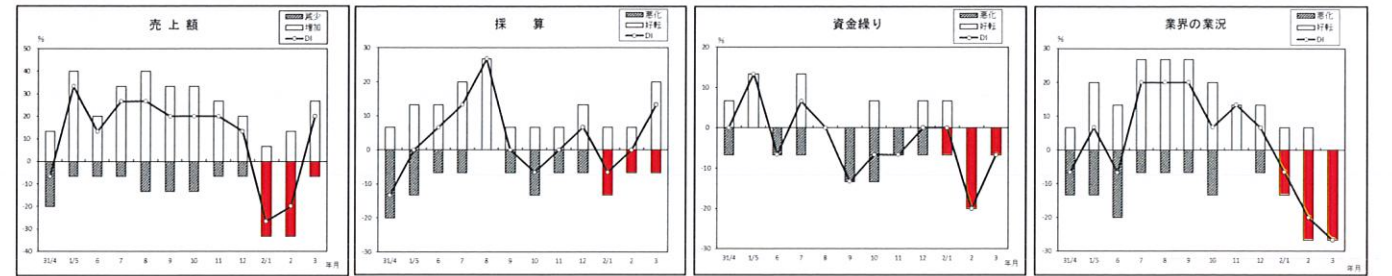
### 工業(食品製造) 相次ぐイベント催事中止等で売上が深刻な落ち込み見せる工業

工業(食品製造)は、2ヶ月連続全DIで悪化となった。前四半期との比較でも前期に引き続き全項目悪化となった。悪化幅は何れも5～10ポイント以内であった。経営支援員からは、消費増税の駆け込み需要に対する反動減から回復できていないとの声や、デパート・ホテル・旅館等に卸している食品やお土産関連は、新型コロナウイルスの影響で売上に深刻な落ち込みを見せているとの報告があった。



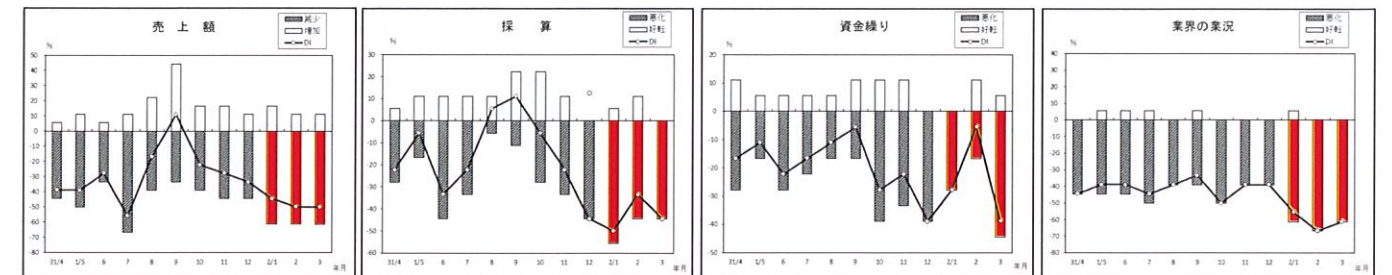
### 建設業 新型コロナウイルスの影響は低いも材料等調達に不便を強いられる建設業

建設業では、3月に入り売上・採算・資金繰りDIが10ポイント以上改善した。前四半期との比較では資金繰りDIが若干改善したものの他の項目では5～10ポイント悪化した。他の業種に比べると、幾分、新型コロナウイルスの影響度合の低いコメントが多いが、特に中国の工場に依存しているトイレやキッチンなどの水回り品、IHヒーター等の納品の遅れが発生しているとの報告があった。



### 商業 一時的に特需が発生するも対応できず、外出自粛で消費停滞する商業

商業は、3月に入り若干、業況DIは改善するも他の項目は悪化した。特に資金繰りDIは33ポイントと大きく悪化した。前四半期との比較では全ての項目で悪化を示した。経営支援員からは、空気清浄機・マスクやトイレトーパー等の衛生商品に一時的特需が発生したが欠品や物流制限等により顧客の需要に対応できないでいる。また年末年始の需要さえも近隣の大型店に奪われているとの報告があった。



### 観光業 新型コロナウイルスの影響を全業種の中で最も受け、深刻な状況の観光業

観光業については、2ヶ月連続全DIで悪化となった。悪化幅は全項目で過去最大かつ急激となった。前四半期との比較でも全項目DIで悪化を示した。新型コロナウイルスの影響により、団体・個人、外国人・日本人を問わず予約のキャンセルが相次いでおり、経営に大きなダメージを与えている。特に2月後半からは状況は深刻化しており、客数が大きく減少し、ほとんど売上が立たないなど悲痛な報告が見られた。

